

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(令和5年度)

公表：令和 6年 2月 1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標及び工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			・活動内容によって場所を移動するなど、落ち着いて活動出来るようスペースの確保を行っています。
	2	職員の配置数は適切である	7			・毎回利用人数に合わせて職員配置を行っており、配置については適切に行われています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1		・全館バリアフリーとなっておりますが、今後も要望や配慮が必要な場合は検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1		・業務改善に関するテーマについて、職員会議など多くの職員で話し合う場を定期的に設けています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	4		・今回のアンケート結果を踏まえ、スタッフ全員で共有するとともに、ご意向についても丁寧に対応していきます。 ・アンケートの提出については匿名性の強化を図り、保護者のご意向に寄り添える支援を心がけていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2		・毎年HPで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	1	今後、第三者委員会からの評価を検討します。 また関係各所のアドバイス等をいただきながら、業務改善に繋げていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2	2	・現在、週1回ペースで支援に関するテーマで会議を行っています。また、外部の専門講師を招いた活動を行い、スキルアップに努めていきます。 ・他事業所への見学なども継続して、実施していきます。 ・専門研修などの参加も積極的に検討していきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		1	・一部アセスメントや分析について職員間での共有が実施出来ないところもあったため、改めて職員全員で計画に沿った支援を見直します。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	1	・随時適切な評価を検討しながら継続していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	3		・職員間で話し合いを行い、活動プログラムの立案を行っています。今後も随時プログラムが固定化しないよう配慮していきます。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(令和5年度)

公表：令和 6年 2月 1日

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標及び工夫している点
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2		・今後もリズムダンス教室などの外部講師を招いての活動や運動、遊び、作業的な活動などバラエティな内容になるように工夫していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			・利用状況に応じて個別で課題設定し、気になる点があれば毎回のミーティング等で修正を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			・引続き個別の活動だけでなく、リズムダンス教室などの外部講師や誕生会などの集団活動も組み合わせで行ってまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			・活動開始前のスタッフミーティングで、連絡事項、支援内容、役割分担などの確認を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1	4	・振り返りについては日誌や報告で行い、翌日のスタッフミーティングで振り返りを行い、会議等でも共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			・日誌等で日々の記録を残し、支援の見直しなどを状況に応じて行うとともに職員間で共有しています。
	18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	4		・支援については週1回のスタッフ会議を行っていますが、計画等に連動していない箇所もあったため、見直しを行います。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1	5		・児童発達支援管理責任者が作成した計画をもとにスタッフ間の周知を図ります。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	4		・担当者会議が行われた場合、リーダー、管理者だけでなく、スタッフも参加可能な限りかかわり、情報共有に努めていきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	2	2	3	・急遽変更になった際の連絡体制など、情報共有についても円滑に行えるよう、職員間で再確認していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3	2	・現在利用者はいません。受け入れ可能な場合は事前の打ち合わせや情報交換が必要となります。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(令和5年度)

公表：令和 6年 2月 1日

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標及び工夫している点
関係機関や保護者との連携	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3		・必要に応じて相談支援員との情報共有を行っています。保護者の同意を得ながら、対応などで子どもさんに混乱が生じないよう、情報共有および相互理解に努めます。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	1	・移行の際に依頼があれば提供していきます。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	1	・研修などは支援等で参加が難しい状況があるため、極力参加しやすいように勤務調整など行い、極力参加しやすい環境を作ります。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			7	・交流を希望されない親御さんもいますので、今後検討していきます。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	1	1	4	・現状、管理者が参加しています。関連する内容については、情報共有を図っていきます。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	3		・電話や連絡帳での伝達や送迎のたびに口頭にて説明していますが、保護者からはLINEやメールなどの活用の要望もあり、今後検討していきます。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	3	・保護者からの要望があれば検討します。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	3		・契約時/毎年の説明を行い、ご不明な点があれば随時対応しています。また、利用者負担についても加算の内容を含め、利用料等の説明を行っています。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2		・各部署とも連携し対応していきます。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			7	・今回のアンケートに基づき、令和6年度実施の方向で検討していきます。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	3		・苦情があれば即座にお聞きし、丁寧な対応を心がけていきます。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(令和5年度)

公表：令和 6年 2月 1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標及び工夫している点
保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2	3	<ul style="list-style-type: none"> • 月のお知らせなどで情報を提供しています。 • 写真については個人情報の観点から、難しいところもありますが、子どもさんの活動の様子を知る機会を検討していきます。
	35	個人情報に十分注意している	7			<ul style="list-style-type: none"> • 資料のある部屋は施錠して管理しています。また外部に持ち出さないなど、引続き徹底していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			<ul style="list-style-type: none"> • 児童へは視覚支援やスケジュールの提示を行い、分かりやすく活動提示を行うなど、コミュニケーションが図れるようにしています。 • 保護者とは予定表や配布書類、連絡帳などを利用し情報の共有に努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	6	<ul style="list-style-type: none"> • 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していましたが、今後は交流の機会を検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2		<ul style="list-style-type: none"> • マニュアルについては職員間で共有していますが、保護者への説明についても行っていきます。またマニュアルだけでなく、適切に対応できるよう定期的な職員研修を実施していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		<ul style="list-style-type: none"> • 引続き定期的な避難訓練を実施し、職員間で振り返りと改善すべき内容について話し合う場を設けていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	0	3	4	<ul style="list-style-type: none"> • 学園全体で虐待防止研修を実施していますので、参加できる機会を増やしていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	4	1	<ul style="list-style-type: none"> • 対象となる子どもさんに対しては個別支援計画立案とともに身体拘束の同意書や経過報告などを行い、理解を得ながら防止に努めていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			<ul style="list-style-type: none"> • 引続きアレルギーのあるお子さんへは、医師の指示書を栄養士、管理者、担当者で確認し、提供していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1		<ul style="list-style-type: none"> • 日誌に記載して回覧していますが、緊急性のある内容については活動前のミーティングや職員会議やケース会議などで周知しています。共有事項をまとめたファイル等の作成を行っています。定期的なヒヤリハット事例集の作成も行います。